

Stefan HASTENRATH・Dierk POLZIN・Lawrence GREISCHAR : ECMWF 再解析データにおける赤道
域東西循環の年サイクル

Stefan HASTENRATH, Dierk POLZIN, and Lawrence GREISCHAR : Annual Cycle of Equatorial Zonal Circulations from the ECMWF Reanalysis

1979—93年 ECMWF 大気上層データセット (ECM) を用い、赤道域全体に渡って東西循環セルの存在を調べた。本研究は、1958-97年 NCEP-NCAR データセット (NCP) を用いた最近の解析を補足するもので、風の発散成分を分離するだけでなく、上昇・下降流域間の流れの連続性も確かめる。ECM および NCP から得られた解析結果は、赤道域における東西循環の存在に関して概ね一致している。東部・中央太平洋では、よく発達したセルが1年を通して見られる。ECM ではこのセルに伴う東部の下降流が地表付近の層まで広

がっているのに対し、NCP では西向きの回帰流が対流圏中層に集中している。大西洋西部では、ECM, NCP 双方において北半球冬期に循環セルが生じ、これらは東部の下降流と地表における西向きの発散流で特徴づけられている。インド洋セクターでは、ECM, NCP 共に北半球秋期の強い循環を捕らえ、アフリカ東部沿岸の下降流と対流圏下層における東向きの流れが見られる。これらの解析結果から、赤道域の東西循環セルは対流圏下層に強い東西方向の流れを持ち、特定の季節や経度帯に限られたものであると言える。



教官 (東京学芸大学地学科) 公募

東京学芸大学地学科では下記の要領で教官を公募します。

記

1. 公募人員：教授または助教授1名（地学科人事審査基準による。教授の場合は連合大学院博士課程の指導教官もできる方）
2. 所属：教育学部地学科
3. 専門分野：大気科学
4. 担当授業科目：学部・大学院の授業。主な科目は、災害予測と自然環境、流体地球物理学、大気環境論
5. 応募資格：博士の学位を有すること
6. 必要提出書類：
 - (1) 履歴書（写真貼付，連絡先を明記すること）
 - (2) 全研究業績リスト（査読の有無を記して下さい。大気科学の教育に関する著作等があれば

加えて下さい）

- (3) 最近5年以内のすべての論文およびそれ以前の主要論文（5編以内）の別刷りまたはコピー（各1部）
7. 応募の締めきり：平成14年10月31日（木）（必着）
8. 採用予定年月日：平成15年4月1日
9. 応募書類の提出先：

東京学芸大学第三部地学科 教授 丸山健人
Tel：042-329-7530
10. その他：
 - (1) 応募書類は、封筒の表に「教官応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。
 - (2) 提出された書類の返送を希望する場合は、返送先を明記し、必要額の郵便切手を貼付した封筒を同封して下さい。

以上、お問い合わせは丸山まで。